

第 2 学年 社会科学習指導案

1 単元名 近畿地方（帝国書院『中学生の地理』 pp.196-208）

2 単元について

- 本単元は、新学習指導要領解説社会科編の内容「C 日本の様々な地域」を受け、近畿地方において、地域的特色を捉えさせる学習として設定したものである。近畿地方の地域的特色を捉えさせるに当たっては、地域の環境問題や環境保全の取組を中核とした考察を基にして、地域的特色を追究するように単元を構成していく。環境問題においては、地球温暖化や環境汚染、ごみ問題などが地球規模で深刻化している。こうした状況において、持続可能な社会を実現するためには環境保全の取組が必要である。その環境問題の一つとして挙げられるのが景観破壊である。平成15年には国土交通省から「美しい国づくり政策大綱」が出された。近年、現代社会における都市化を背景に、地域の環境は次第に変容し、古くから残る美しい景観が失われつつある。中学生という年代においては、古くからの景観を知らない生徒も多く、自らが生活する地域の景観に美しさを感じる生徒も少ないと思われる。しかし、昨今、伝統的な街並みや地域特有の雰囲気を残していこうとする活動が各地で行われている。大綱の中にも示されているように「美しさは心のあり様とも深く結びついている」のである。景観破壊を一つの環境問題であると捉え、その美しさを保全していくために自分たちや地域に何ができるのかを考察することは、持続可能な社会の形成者としての態度の育成につながると考える。
- 本学級の生徒に行ったアンケートによると、「社会科が好きだ」と回答した生徒は51%、「社会科の授業はよく分かる」と回答した生徒は76%であった。社会科の授業における基礎的・基本的な用語・語句の増加による学習内容の難易度の向上に伴い、社会の学習が好きだという生徒の割合は減少傾向にある。また、「社会の授業で、生徒間の話し合いを通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒は88%で、話し合い活動を肯定的に捉えている生徒も多かった。しかし、「社会の授業で自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思う」と回答した生徒が68%と多いことも分かった。「どう書いてよいか分からない」といった、文章を記述することに対して苦手意識をもっている生徒が多いと考えられる。そこで、諸資料や調査活動などを通して調べたり考えたりしたことを記述する時間を毎時間設定し、ワークシートに文章を記述する上で必要なキーワードや文の構成を例示したことで、相手に伝わりづらい記述をしている生徒もまだ見受けられるが、徐々に自分の考えを文章で記述することができるようになってきている。
- 指導に当たっては、まず、近畿地方を例に身近な地域における環境問題についての関心をもたせ、単元を貫く学習課題「これから環境問題をどう解決したらよいだろう」を設定する。そして、近畿地方でかつて起きた環境問題と人々の生活や産業との関わりについて調べさせる。その際、環境保全のために地方自治体や企業、保全団体が現在行っている取組について考察していくよう促す。また、身近な地域の環境問題や環境保全の取組についても触れることで、近畿地方での事象を自分たちの生活と結び付けていくよう促す。授業の中で、継続して諸資料や調査活動などを通して調べたり考えたりしたことを記述する時間を毎時間設定し、ワークシートに文章を記述する上で必要なキーワードや文の構成を例示して自分の言葉で表現させることで、単元を貫く学習課題に迫る手立てとしたい。本単元の最後には、「歴史的景観を守っていくための手立てを考えよう」というめあてを設定する。そこで、生徒が暮らす神埼市の身近な環境問題や環境保全の取組を取り扱うことで、地域の一員として自

分たちの生活環境に即した課題について考えさせたい。生徒自身が暮らす身近な神埼市を取り上げることで切実感をもたせ、自分の考えと他の生徒の意見を比較させたり取り入れさせたりしながら、課題解決のために地域として、または自分たちにできることを模索していくよう促したい。

3 単元の目標

- (1) 近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を基に、近畿地方の地域的特色と課題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えるようにする。
- (2) 近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を基に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができるようにする。
- (3) 近畿地方の地域的特色に関する様々な資料を収集することができるようにする。また、収集した資料の中から有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりすることができるようにする。
- (4) 近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を基に、近畿地方の地域的特色を理解し、その知識を身に付けることができるようにする。

4 評価規準

【現行の評価の観点による評価規準】

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	観察・資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
○近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を基に、近畿地方の地域的特色と課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、捉えようとしている。	○近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を見だし、その学習課題を基に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○近畿地方の地域的特色に関する様々な資料を収集し、それらの資料の中から有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を基に、近畿地方の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

【新しい評価の観点による評価規準】

※新学習指導要領の評価の観点で示した。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
○近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を基に、近畿地方の地域的特色を理解し、その知識を身に付け、その地域的特色に関する様々な資料を収集し、それらの資料の中から有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を見だし、その学習課題を基に、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を基に、近畿地方の地域的特色に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、捉えようとしている。

※佐賀県教育センター「プロジェクト研究（中学校社会科教育研究委員会）」の試案である。

5 単元計画 (全 5 時間 本時 5 / 5)

.....質的改善を図った手立て

過程	主な学習活動 (○)	教師の働き掛け (○)	評価 (・) 評価の観点【】	時配
つかむ	○近畿地方を概観する。 ○近畿地方における環境問題や環境保全について追究する単元を貫く学習課題を設定する。	○地図や雨温図、写真などの資料から近畿地方の自然環境について読み取らせることで、近畿地方の概観を整理する。 ○単元に対する見通しをもつことができるように、昨今の環境問題における新聞記事から環境保全の取組を示し、生徒と共に単元を貫く学習課題を設定する。	・様々な資料から、近畿地方の自然環境について読み取り、まとめている。 【技】 [ワークシートの記述] ・近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を見いだしている。 【思】 [発言の内容やワークシートの記述]	1
	[単元を貫く学習課題]これから環境問題をどう解決したらよいだろうか			
調べる	○琵琶湖の水質汚濁と地域住民の生活について、教科書や資料集を使って改善への手立てを調べる。	○地域住民の生活や産業、環境問題の関連について、複数の資料を基に様々な側面、角度から調べて考えることができるように促す。 ○グループで、それぞれの考えとその根拠をメモしながら、他の生徒の意見を取り入れたり、自分の意見と比較したりして話し合うことができるように促す。	・近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を基に、近畿地方の地域的特色と課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【関】 [活動の様子とワークシートの記述] ・琵琶湖について、環境問題や環境保全の面から調べ、まとめている。 【技】 [ワークシートの記述]	1
	○かつての工業の在り方によって起こった環境問題について、教科書や資料集を使って現在の企業を中心とした環境保全への取組を調べる。	○企業を中心とした環境保全への取組、環境問題の関連について、複数の資料を基に様々な側面、角度から調べて考えることができるように促す。	・近畿地方における環境問題や環境保全について意欲的に追究している。 【関】 [活動の様子とワークシートの記述]	1

		<p>○グループで、それぞれの考えとその根拠をメモしながら、他の生徒の意見を取り入れたり、自分の意見と比較したりして話し合うことができるように促す。</p>	<p>・環境問題と現在の工業の在り方を、企業の取組と関連させて考察し、その特色を表現している。 【思】 [ワークシートの記述]</p>	
	<p>○農林水産業と環境問題の関連について調べ、教科書や資料集を使って環境保全への取組を調べる。</p>	<p>○農林水産業と環境問題の関連について、複数の資料を基に様々な側面、角度から調べて考えることができるように促す。</p> <p>○グループで、それぞれの考えとその根拠をメモしながら、他の生徒の意見を取り入れたり、自分の意見と比較したりして話し合うことができるように促す。</p>	<p>・近畿地方における環境問題や環境保全について追究する学習課題を基に、近畿地方の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 【知】 [ワークシートの記述]</p>	<p>1</p>
<p>考え・まとめる</p>	<p>○歴史的景観の保全について身近な例を基に多面的・多角的に考察し、これからの環境保全について展望をもつ。</p>	<p>○文章表現を行う場を設定するとともに、ワークシートに合わせた書き方やキーワードに沿って、根拠となる資料を示して考察するように促す。</p> <p>○単元の学習を振り返らせ、単元を貫く学習課題に対する自分の考えを整理しながらまとめるよう促す。</p>	<p>・歴史的景観を構成する建築物等に住む人々の生活を通して、環境問題や環境保全に対して多面的・多角的に考察し、歴史的景観を保全するための取組を考案している。 【思】 [ワークシートの記述]</p>	<p>1 (本時) (5/5)</p>

6 本時の目標

歴史的景観を構成する建築物等に住む人々の生活を通して、環境問題や環境保全に対して多面的・多角的に考察し、歴史的景観を保全するための取組を考案している。 【社会的な思考・判断・表現】

7 展開(全 5 時間 本時 5 / 5)

.....質的改善を図った手立て

学習活動	教師の働き掛け (○) と評価【】
1 本時の学習内容の見直しをもつ。	○単元を貫く学習課題を確認し、本時のめあてと授業の流れを電子黒板に提示することで、本時の学習内容を確認できるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【めあて】歴史的景観を守っていくための手立てを考えよう </div>	
2 写真を比較して、気付いたことや読み取れることを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・電柱の地中化 ・京都市内のコンビニエンスストア </div>	○2枚の写真を電子黒板に提示し、生徒が気付いたことに対して問い返すことで、本時の学習内容に対する興味・関心を高める。
3 電柱を地中化させる理由とコンビニエンスストアの色が違う理由を考える。	○「京都市はどのような特色をもった都市だった？」など、京都市の地域的特色について問い掛けながら、歴史的景観を保護する取組に気付くように促す。
4 写真を見て、神崎市にも歴史的景観があることを知る。	○神崎市に見られる歴史的景観を電子黒板で提示することで、歴史的景観を身近なものと感じられるようにする。
5 グループで話し合い、神崎市に見られる歴史的景観の写真から、歴史的景観を守っていくための取組を考案する。	○環境問題や環境保全に対して多面的・多角的に考察できるよう、以下の考えるポイントを掲示し、そのポイントを視点として話し合うように伝える。 【評価】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・住民の利便性（便利さ） ・行政（区市町村）、企業、個人としてできること ・歴史的景観の活用法 </div>
6 グループの意見を発表する。	○文章表現を行う場を設定するとともに、ワークシートに合わせた書き方やキーワードに沿って、根拠となる資料を示してまとめるように促す。 ○代表者の意見を全体で共有することで、自分の考えを深めることができるようにする。
7 単元の学習を振り返り、単元を貫く学習課題について考える。	○単元の学習を振り返らせ、単元を貫く学習課題に対する自分の考えを整理しながらまとめるように促す。

8 本時の評価

評価規準	歴史的景観を構成する建築物等に住む人々の生活を通して、環境問題や環境保全に対して多面的・多角的に考察し、歴史的景観を保全するための取組を考案している。 【社会的な思考・判断・表現】		
判断する目安 (判定基準)	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)
	○(B)に加え、住民の利便性や観光資源としての役割を踏まえて、取組を考案している。	○環境問題や環境保全に対して行政・企業・住民の立場を踏まえて、自分なりに歴史的景観を保全するための取組を考案している。	(B)に達していない状況
→(B)、(C)と判断した生徒への支援		→一般的な取組を考案することができる生徒には、住民の利便性や観光資源としての役割にも着目させる。	→取組を考案できない生徒には、考えるポイントを確認させ、話し合ったことを整理させる。
評価方法	ワークシートの記述		